



History of ART International limited.
1983-2019

2019



1983

- ・ JEM JAPAN 設立



1984

- ・ JEM JAPAN (ジェム) から ART へ
- ・ ART SPEED Engineering LTD 統合
- ・ 東京都杉並区 (環状 7 号) に本社、ショールームを設置
- ・ 東京都板橋区 (環状 7 号) にサービス部設置
- ・ 英国車を中心に輸入、修理、販売卸業務開始
- ・ 極上希少車専門に小売販売開始
- ・ スプライトミニ MK1、バンブラ全車完売



1988

- ・ 板橋より朝霞市にサービス部を移転
- ・ 英国に関連会社工場設立
- ・ ロータス系、ジャガー系 輸入販売開始
- ・ フットワークレプリカ事業部契約代行開始
- ・ ダイムラーリムジン、リプロダクション車両、GT40 など
- ・ 特殊車両の輸入代行業務開始 150 台

- British Car Import Sales
- Restoration Service
- Modification

- Emission Test
- Improve Spec Japanese legal
- Type Approval

- Research Developments
- Inspections



1989

- ・ 生産者数社及び商社と契約代行業務
- ・ 英国工場稼働開始 リサーチ業務開始
- ・ ジャガー、ジャガーストレッチリムジンワンオフ制作
- ・ ロードスター ロータスエリート仕様の開発 国内改造認可



Late Princess



1990

- ・ エンジンチューニング事業の拡大化開始
- ・ “アートスペシャルセブン” の国内組立販売の開始
- ・ “ケーターハム ZETEC” 限定発売
- ・ 川越にサービス部移転 設備の充実を図る
- ・ 特徴ある国内フルレストア国内改造版
- ・ “ART プリンセス” 限定発表
- ・ 英国工場を開設



- Austin Healey
- Sprite MK1

Westfield seven



Footwork

1991

- ・ ADO16 シリーズのフルレストア日本仕様を制作発表
- ・ “ART プリンセス” 完売
- ・ “ヴァンブラサーティーズ 30th” 限定車制作
- ・ ケータハム国内組み立て業務開始



- Miki MK1 only



- Lotus Seven

Lotus Excel



Daimler Limousine

1992

- ・ “ヴァンブラ 30th2” の販売開始
- ・ 英国ウェブコン社のアルファ総代理店業務開始
- ・ 1/1 スケールのゲーム機の制作
- ・ 新エンジンマネジメントシステムレースサポート及び特注車両の排ガス代行業務拡大
- ・ レースラインエンジン国内整備
- ・ 英国工場を閉鎖

- Lotus Elan



- Lotus Europe

- Lotus Esprit

Jaguar. R.R.Daimler

Porsche 935 REP

Riley MPH REP

- Lotus Excel

Lister Racing

1993

- ・ウェーバーアルファマネジメント販売開始



British Car Import Sales
Restoration Service
Modification



- Jaguar MK2
- XJ-6 XJ-S W6

Emission Test
Improve Spec Japanese legal
Type Approval



- Caterham with
- Other Engines

Research Developments
Inspections

TV Tokyo



ART Racing Team



1994

- ・四輪駆動用負荷付き ボッシュシャーシダイナモ設置
- ・川越新工場稼働開始 設備の充実を図る
- ・レーシング ART SEVEN、ART23B Mugen の制作
- ・ART レーシングカーシェイクダウン開始
- ・ART レーシングチーム発足



1995

- ・パイパーカム 輸入元
- ・アートモータースポーツクラブ登録 (JAF)
- ・業務内容をテクニカル業務型へ転換
- ・立風書房オートジャンブル誌試験協力担当
- ・マイスターカップレースシリーズ運営開始



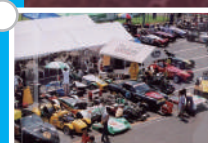
1996

- ・筑波サーキット JAF 公認シリーズ戦 スプリントレース
- ・TAKATA 外車用製品の開発業務開始
- ・スーパーセブン用レーシングハーネス発表
- ・ロータスエリーゼ用レーシングハーネス発表



- Most British and Europe sports cars total 250 cars

SEGA DTM 1/1



TAKATA BELTS

1997

- ・ロータス運輸省型式業務開始
- ・新型式 GF-111 取得
- ・杉並本社ショールーム事務所を川越に移転・集約
- ・ロータス業務拡大のため、当社敷地内に倉庫を併設
- ・横浜ゴムスポーツタイヤサポート開始
- ・ウェーバーアルファ新型ソフト再開発



ALPHA

1998

- ・ホンダ N360 にスバルエンジン SC を移植 改造認可 同様の改造申請を多数実行
- ・工作機械等追加設備設置
- ・英国政府支援 MIA 英国モータースポーツショーに スタンダードモータープロダクツ WABER 総代理店として出展



Consultant

- ALPHA Dealers
- Auto Jumble
- Japan Lotus



PHP



VW Beetle Cup

VW GTI Cup

1999

- ・マイスターカップレースシリーズ戦 シリーズチャンピオン

- TAKATA BELT
- Light Weight only
- Cox.EV Project

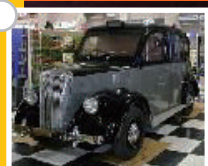
2000

- ・コックス川越分室業務 電気自動車の試作車制作
- ・電気自動車国土交通省型式認証担当業務顧問 新型式取得



- GF-111-004 Elise
- GF-111-005 Elise 2

GOXEY
川越分室 DEPT.



2001

- ・スーパーオートバックス埼玉法人のディスプレイ技術指導講習開始
- ・ケータハム社 エントリーモデル開発提携業務開始
- ・ADVAN 25 周年記念展示車両再仕上げ協力

○Consultant

Yokohama
LW Sports Tyre

○PHP



○GOXEV
○川越分室 DEPT.

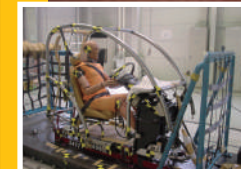


SuperAutoBacs
Decoration

2002

- ・横浜ゴム ライトウェイト用スポーツタイヤ開発着手
- ・横浜ゴム ワークスレーシングカー
- ・レストア業務
- ・K シリーズ レースエンジン供給開始
- ・レーシングエリーゼ 開発協力
- ・筑波エリーゼ最速タイム樹立
- ・鈴鹿 1000km レース ウェーバーアルファ
- ・協賛 参加 ウイングオート ロータスエリーゼ
- ・試作車両 請負共同開発開始
- ・電動モーター用ベンチ開発 耐久試験開始
モーター用ダイナモ ロガー開発
- ・モデル ケータハムスーパーセヴン EV 生産開始
- ・モデル QVOLTトラック EV 生産開始
- ・ケータハム 専用カーボンボンネット開発

○Restoration Service
○Modification



2003

- ・キャメル ロータス F1 レストア
- ・CQ2 ケータハム社公認 EV 生産開始
- ・DTA その他の ECU 業務開始

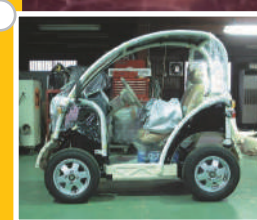


2004

- ・アズニューインジェクターサービス
- ・アズニューダイアグノシス日本語版制作
- ・2 サイクルインジェクション設定研究
- ・車両 総合 耐久試験
- ・国産車レストア開始
- ・ドイツ車レストア開始
- ・ボルシェ カレラカップメンテナンス開始
- ・ウェーバーキャブレター生産不能ニュース
- ・ASNU JP HP 開設
- ・ASNU マシン総輸入販売権獲得 販売開始
- ・WEBER キャブレター GH 排ガスクリア



ASNU
インジェクターサービス



2005

- ・微少車 国産車用 2U 空冷エンジン再開発
- ・ボディレストア用ローリングマシン開発製作
- ・ドイツ車 国産車 集中レストア業務再開
- ・インポーター 型式認証顧問
- ・ASNU オートエキスポ 出展
- ・整備士育成 技術顧問
- ・燃料噴射実技講習会開始

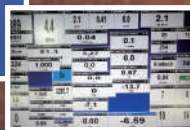


2006

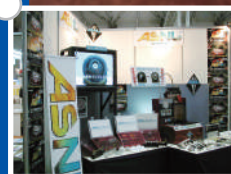
- ・MBE エージェント契約
- ・フルレストア プリンス
- ・インジェクター診断講習会開始
- ・試作車両 開発準備動力シャシ 2 次 EV 開発
- ・英国企業 取扱コンサルティング
- ・モーターショーモデル動力車両開発
- ・ASNU オートエキスポ 出展
- ・ASNU オートサービスショー 出展

● Restoration Service
● Modification
● Maintenance

● Research Developments
● Emission Type Approval



MBE
powercontrol technologies



2007

- ・チューンドエンジン製作 供給：
フォード オペル ヴォクソール コスワース ロータス
ポルシェ フェラーリ
- ・ポルシェ 904 長期フルレストア フェラーリ関係フルレストア開始
- ・新型 ALPHA Pro4 ECU 試験採用開始
- ・ASNU オートエキスポ 出展
- ・ASNU オートサービスショー 出展



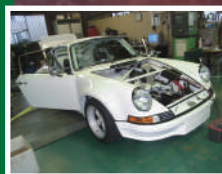
2008

- ・ロータス インポーター顧問
- ・EV その他特殊車両製作
- ・ケータハム コニダンパー発表
- ・ゼテック レースエンジン再開発
- ・デュラテックレースエンジン開発開始
- ・MBE 9A シリーズ ECU 販売 セッティング開始



2009

- ・ケータハム顧問
- ・ケータハム国内仕様改善提携業務
国内向け排ガス保安基準 PDI 業務全般
- ・ケータハムテクニカルセンター開設
- ・OMEX カリブレーション開始
- ・ウェーバーアルファ シグマ用
- ・ウェーバーアルファ デュラテック用
- ・ジネットタ排ガス



2010

- ・SAKER 排ガス取得
- ・東京モーターショー セブンサイレンサー出展
- ・中国 EV 試作シャシ制作
中国 EV パワートレイン試作・試験
- ・エリーゼ ボディダンパー開発
- ・ケータハム 国内用専用マフラー開発 R500
- ・ケータハム 国内用専用マップ開発 R500
- ・モーターショーモデルパワートレイン制作請負業務委託契約
- ・ファービオ排ガス等

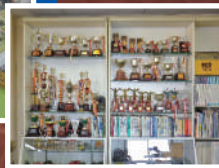
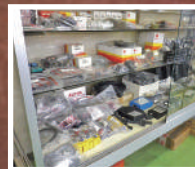


2011

- ・自動車メーカー R&D（研究開発協力）
- ・モーターサイクル保安基準適合業務請負

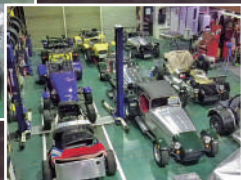
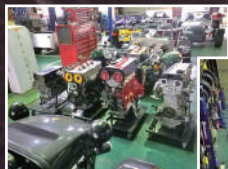
○Restoration Service
○Modification
○Maintenance

○Research Developments
○Emission Type Approval



2012

- ・ケータハムカーズ顧問 新規モデル制作改善



2013

- ・ジネット保安基準・排ガス関係顧問 特殊契約



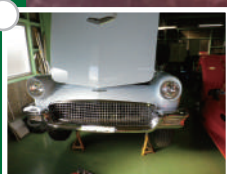
2014

- ・ケータハム + スズキ自動車のパワートレインにて
新モデル開発（外国メーカーとして初軽自動車制作）



2015

- ・ケータハムカーズ フランクフルトショーで
スズキブースにて発表
- ・SC ECU カリブレーション開始
- ・本部工場を埼玉県川越市より三芳町へ移転



2016

- ・Zenos Cars UK 日本輸入元契約
- ・排ガス保安基準適合 騒音試験等開始 / PDI 準備
- ・ゼノス E10 日本仕様テスト開始
- ・SCS Delta 統括アジア総輸入販売元契約
- ・ECU 開発開始
- ・ケータハムアフターマーケットプラグアンドプレイ 発売開始
- ・スズキエンジンケータハム用アフタースペック（高出力化）開発開始



2017-2018

- ・ ケータハムスプリント（輸入軽自動車）
国内限定車発売 / 即完売にて現在納車開始
- ・ ケータハムは当社検査による予備検査
新車納車累計 500 台を達成

○Restoration Service
○Modification
○Maintenance

○Research Developments
○Emission Type Approval



2019

当社ART(ART International limited は、2019年現在、創業36年、元法人設立後30年以上経過しました。
多くのお客様のおかげで継続できているものと確信し大変感謝しております。

当社の前身は詳細のとおりジェムジャパンで、現代表が社員として英国から帰国し設立された法人です。
本業は在英邦人の方々での自動車のサービス業ですが、当時は英国から直輸入したいというショップさんも多く、それらのサポートも業務の一環ですが、当然現在のようなインターネットの普及はなく、テレックス、ファックス、電話、郵便以外の通信サービスはなく、車両のコンディションに伴う正確な情報伝達には多くの時間を要するので、そのサービスの効率化を図るため、日本法人を開設いたしました。

一般の業者様には高価すぎる、または英国に本社を置く企業特有の利便性を生かした特殊作業を有効化させ、通常国内の取引先と販売車両が重ならないよう、すでに流行ではなくなっているモデルを中心に販売をスタートしました。

ADO15(ミニ)やカニ目についてはマーク1のみに限り、ヴァンデンプラスプリンセス(ADO16)については極上のものだけを中心としました。
日本では衝撃的なニュースになり多くのサービスを充実した業務を行っていましたが、数年後次はフランスに出店計画が大手商社との提携がありましたので、それまでに直接納めたお客様のサービスを継続するため、現代表を独立させ国内に残ろうということになりました。
それがアートインターナショナルの始まりです。

サービスを継続していましたが、プリンセスのヒットにより、誰もがコンディションに係わらず輸入するようになり、クズ同然の車両まで数百台が日本に来てしまいました。

はやりを作るというのは大変なことです。結果的にオーナー達の夢は壊され、形だけ綺麗な危険な車両が増えてしまい、当社はその専門家と称され納期は最大で2年ほどかかっていました。

私たちのホームグラウンドは日本であり、顧問先も国内がメインではありますが、多くの取引先、提携先は英国に本拠をもつ企業です。
日本と英国との比較研究に始まり、学習の連続です。

現在までに多くの企業顧問の経験もさせていただいておりますが、多くは自動車に関する技術基準、保安基準、型式など外国製自動車を国内向けに改善することです。

自社で車両の製作を行いR&D全般を行い、また他社から同様な業務を請け負うこともしています。
多くを数値化することで、その欠点や弱点を判断し、国内の環境で安全且つ楽しめる自動車を供給できるシステム作りを日々行っています。

特に英国の総量生産の車両は適合することが難しく、当社が国内向けガソリンに適したエンジン制御等を行い、排ガス規制、騒音規制、各基準をクリアさせています。

さらにアフターマーケット用オプション製品の開発、アップグレード、エンジンチューニングもすべて自社内で行っています。
近年業務は増えるばかりで、お待たせすることが多くなっているため、残念ながら受注を控えているのが現状です。
簡潔に言えば他社ができることを我々が行う理由はないというのが基本的な思考です。
技術的な情報で公開が許される部分は一般的な手段で行っています。

当社は車両販売からスタートしていますが、整備、修理、レストアを25年続け、一時的にレストア業務も休止し、ショールームを持たない業務に専念して参りました。(試作車両製作、開発業務請負、認証関係、改善業務等が中心)

そのため俗に言うショップではございません。

2018年4月以降は、一般ユーザーへのアフターセールス、チューニングを順番に引きうけることとして現在に至っております。

経営者を含め、全員が技術者であり、常にお待たせしているお客様がおられます。

予定を組み込める場合には、ご来社いただけますが、なかなかゆっくりお話することはできません。

何とぞご理解の程お願い申し上げます。